

びわこ大会から44年ぶり
輝く国スポ・障スポ」開催!
第24回全国障害者スポーツ大会)



滋賀県ゆかりのアスリートたちからのスペシャルメッセージ！ //

◎滋
滋
株

**県民みんなで
つくりあげる大会へ!**

競泳
大橋 悠依選手(彦根市出身)

選手はもちろん、応援する人、ボランティアとして支える人、みんなが大会をつくりあげていく一員です。選手にとって、応援は何よりの力になります。出身の都道府県旗が見えたり、地元の声援が聞こえたり、応援されていることがわかるといつも以上に気持ちが上がり、より力が発揮されるものです。県民の皆さんにはたくさんの競技に触れて楽しむとともに、応援し、ボランティアとして参加し、選手といっしょになって盛り上がってもらいたいです。

大橋選手からのメッセージムービーも公開中!

見る人が面白いと感じるプレーを!

ホッケー
山中 楽生選手(彦根市出身)

開催時、自分は21歳で選手として全盛期を迎えていた頃です。その中、地元で大会が開催されるのはありがたく、ぜひ出場し、これまでお世話をうけた方をはじめ、多くの人にプレーを見てもらいたいです。そして、ホッケーの面白さを伝えるとともに、次世代の子どもたちが夢を抱くような活躍ができればと思います。

地元の応援と環境を強みに頂点へ!

ローイング(ボート)
宮口 優希選手(大津市出身)

地元開催の大会として出場できるのは、一生に一度あるかどうかのこと。出場はもちろん、普段慣れ親しんでいる環境という強みを活かし、いい順位を狙っていきたいです。水上の競技で琵琶湖にもゆかりのあるローイング(ボート)種目。大会を通じて、多くの人にその魅力を知ってもらい、競技普及にもつながればと思います。

**プレーを通じて驚きを、
その先の感動を!**

車いすバスケットボール
清水 千浪選手(長浜市出身)

競技場や施設の整備が進むなどの盛り上がりを感じており、今からわくわくしています。障害者スポーツはまだ見たことがない人も多く、車いすバスケではプレーの迫力にきっと驚かされるはずです。車いすでターンしたり、止まる音やタイヤが焦げる匂いがしたり、他では感じられない魅力があります。私たち選手も自分たちのプレーを通じて驚きや、その先にある感動を与えられるように一戦一戦、全力で戦いたいと思います。

清水選手からのメッセージムービーも公開中!

同郷の選手とともに、上位入賞へ!

アーチェリー
渋谷 樹里選手(大津市出身)

私がアーチェリーを始めたきっかけが、次世代アスリート発掘育成プロジェクト「滋賀レイキッズ」で、これは国スポ・障スポで活躍する選手を育てる活動でもあります。また、同郷の選手たちとチームを組み、試合に臨むのもこの大会ならでは。地元開催ということもあり、上位入賞を目指し、頑張りたいと思います。

地元のみんなの前で、いい成績を残す!

ウエイトリフティング
堤 茉央選手(竜王町出身)

大会出場は憧れであり、大きな目標の一つです。特に、私は次世代アスリート発掘育成プロジェクト「滋賀レイキッズ」の第1期生ということもあり、県民の皆さんのがんばりをいい成績を残し、活躍することが何よりの恩返しになります。ぜひ、たくさんの応援のもと1位獲得を目指して、チーム一丸で頑張りたいと思います。

滋賀県知事からのメッセージ

2025年に滋賀県で開催する「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」を県民みんなで盛り上げていきましょう。

滋賀県知事 三日月 大造

知事からのメッセージムービーも公開中!

グッズを買って、わたSHIGA輝く国スポ・障スポを応援しよう！

※売上金は、両大会への寄附になります。

オリジナルぬいぐるみやピンバッジ、各種募金グッズを絶賛販売中！

ぜひ、手に入れていっしょに楽しもう。

● キャッフィーぬいぐるみ
10円(税込)

● キャッフィー・チャッフィー
ピンバッジ
1個／200円(税込)

● ぬいぐるみと
ピンバッジのセットで
1セット／1,500円
(税込)

（郵送での販売も！）
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局までお問い合わせください。
〒520-0807滋賀県大津市松本1-2-1(滋賀県国スポ・障スポ大会局内)
TEL: 077-528-3339 FAX: 077-528-4832 E-mail: kokusyo-koho@pref.shiga.lg.jp

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ ボランティア募集中！

わたSHIGA輝く国スポ・障スポでは両大会を支える運営ボランティアを募集しています。1981年の「びわこ国体・びわこ大会」以来、44年ぶりの滋賀県での開催です。この貴重な機会にあなたもボランティアで大会に参加してみませんか。

■ 活動内容 開・閉会式、競技会の運営補助等
■ 応募要件 令和7年4月1日時点で12歳以上
※応募時点で18歳未満の方の申込については保護者の同意が必要
■ 募集期間 令和7年5月30日(金)まで

お申し込みは
こちらから！

寄附と企業協賛のお願い

年に行われる「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ(第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会)」の開催に向け、寄附や企業協賛をお願いしています。寄附制度や企業協賛制度を通じて、一緒に両大会を盛り上げませんか。

	寄附	企業協賛
制度概要	■ 県民や企業・団体などの皆様から広く寄附金を募り、両大会の開催を支えていただく制度です。 ■ 10万円以上の寄附者については、平和堂HATOスタジアム(彦根総合スポーツ公園陸上競技場)に設置する銘板に記し大会後も顕彰します。	■ 企業・団体の皆様からの協賛金や協賛物品などのご支援をいただく制度です。 ■ 大会前や開催期間中、さまざまな特典を付与します(マスコットキャラクター広告使用権、各種媒体での企業名の掲載など)。
使い道	大会の運営や選手の発掘・育成・強化、スポーツ施設の整備などに活用します。	大会の広報活動や開催準備・運営に活用します。

税制上の措置があります。

寄附の詳細はこちら

企業協賛の詳細はこちら

最新情報は公式サイトへアクセス！
滋賀2025 検索

ソーシャルメディア連携

FSC認証

VEGETABLE OIL INK

びわこ
国スポ 令和7年9月28日(日)～

山中 楽生選手
ホッケー・彦根市出身

渋谷 樹里選手
アーチェリー・大津市出身

大橋 競泳・彦根市出身

の感動 未来へつなぐ

GA輝く国スポ・障スポ ・第24回全国障害者スポーツ大会 2025



チャッフィー

来へつなぐ



Page 1

の開催! —————

10月25日(土)~10月27日(月)

100% Satisfaction | **100% Money Back** | **100% Quality**



大会愛

大会ス

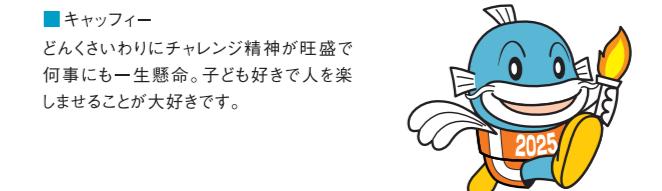
「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に
明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込

国スポーツ振興センター 2025年(令和7年) 9月28日(日) > 10月8日(水)

障久示 | 2025年(令和7年)10月25日(土)>10月27日(月)

大会マスコット

大会マスコットキャラクターは、琵琶湖の固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにした「**キヤッフィー**」&「**チャッフィー**」



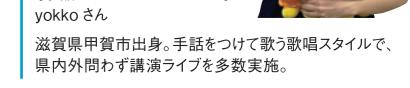
イメージソ

大会イメージソングは、手話シンガーソングライターのみんなで歌おう。手話でも歌おう。いっしょに楽しもう。



◎わたSHIGA輝く

作詞・作曲:yokko 編曲:猪原もとき
こらから

扉あけて 大きく深呼吸 どんな空模様でも 素敵な1日	時は巡り カタチは変わるけど 今この時だから 出会えるものがある	わたSHIGA輝くものをみつけてみよう
始まる わたしだけのストーリー 一人一人 色とりどり	広がる みんなの夢と希望 期待に高鳴る胸の鼓動	わたSHIGA輝く場所をさがしにゆこう
それぞれみんなが主役なんだ 最高の笑顔であ行こう!	未来へつなぐ湖国の感動 想像を行動へレッツゴー!	あなたが輝くものをみつけてみよう
わたSHIGA輝くものをみつけてみよう	あなたが輝くものをみつけてみよう	あなたが輝く場所をさがしにゆこう
わたSHIGA輝く場所を探しにゆこう	あなたが輝く場所を探しにゆこう	みんなが輝く滋賀!!

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ 2025

県内各地で繰り広げられるスポーツの祭典。選手はもちろん、応援する人、支える人、すべての人が主役として輝ける大会へ。

1981年開催のびわこ国体・びわこ大会をプレイバック!

あの感動と熱狂の瞬間をもう一度。
県民みんなで、一緒に盛り上げていこう。

*2024年から国民体育大会(国体)の名称が国民スポーツ大会(国スポ)に変更されます。

1981年、滋賀県内で第36回国民体育大会・第17回全国身体障害者スポーツ大会が開催されました。全国各地から参加する出場選手はもちろん、県民も観戦や歓迎の催し、ボランティア活動など、さまざまな形で参加。まさに、滋賀県一丸となった大会になりました。

第36回国民体育大会では、33競技(冬季大会を除く)が滋賀県内で実施され、県内競技に参加した選手・監督の人数は計22,540名にのぼりました。男女総合成績では滋賀県が16競技で1位となり天皇杯を、女子総合成績では滋賀県が6競技で1位となり皇后杯を獲得。地元選手たちの活躍する姿、県民も大いに盛り上がりました。また、全国身体障害者スポーツ大会では、全国都道府県・政令指定都市57選手団をはじめ、国際障害者年記念として招待された東南アジアや南太平洋諸国など18の国と地域の選手団、総勢1,043名の選手が参加。国内外の選手が全力で競技に取り組む姿が大きな感動を呼びました。

そして、2025年に再び滋賀県での幕が開かれます。あの感動の瞬間を、あの白熱のひと時をみなさまのもとへ。スポーツをする人も、見る人も、支える人も、あらゆる世代で大会を大いに盛り上げていきましょう。

■ 第36回国民体育大会
1981年9月13日～9月16日(夏季)・10月13日～10月18日(秋季)
■ テーマ「びわこ国体」
■ スローガン「水と緑にあふれる若さ」

■ 第17回全国身体障害者スポーツ大会
1981年10月24日～25日
■ テーマ「びわこ大会」
■ スローガン「わたしにもこんな力が生きがいが」

1981 MEMORIAL PHOTO



NEXT 2025

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

競技会場地マップ

2024年6月現在

○実施競技

国民スポーツ大会

●正式競技

◆特別競技

★公開競技

▲デモンストレーション競技

☆オーブン競技

■オープン競技

●ハンドボール

●ソフトボール

●サッカー

●バスケットボール

●卓球

●テニス

●水泳

●弓道

●剣道

●空手道

●柔道

●レスリング

●バドミントン

●ラグビー

●スケート

●スキー

●スケートボード

●スケート

●スケート